書式第８号（法第１０条・第２５条関係）

設立・定款変更用

令和３年度　　事　業　計　画　書

特定非営利活動法人レスキュー・ハブ

１　事業実施の方針

令和３年度においても都内、首都圏における繁華街等、街頭でのアウトリーチ事業を継続し、支援を必要とする青少年を的確な社会資源へつなぐと同時に、これら支援に係る公的機関等と意見交換を行い、被害者に必要とされる組織横断的な支援の在り方について協議し、提言を行う。また啓発活動の一環として、関係機関における研修等の実施についても積極的に打診を図る。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【 1,608,120 】円　）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（円）
対面アウトリーチの実施と困難性に係る生きづらさや生きづらさを抱える青少年等への支援の提供	街頭アウトリーチを実施し、左記の状況を抱える青少年等への孤立や被害の深刻化を防ぐため、声かけ、相談カードの配布などを実施。相談に繋がれば、的確な社会資源へと繋げる。	毎月４回程度を想定	首都圏繁華街等を想定	延べで200人を想定	首都圏繁華街等にお住いに係る困難性やつまづきを抱える青少年	延べで2,500人を想定	1,450,000
公的機関はじめ外部団体等との協働体制の構築	街頭アウトリーチから見える可視化されにくい被害実態の共有ならびに、必要とされる支援、組織横断的な支援体制の構築に係る提言の実施	年４回	警察庁、自治体等	６人	左記関係各省庁、自治体等の関係機関、児童、青少年、女性等全ての安心に係る担当者	80人を想定	100,000
啓発活動および政策提言の実施	中央省庁、自治体、議員に対する情報共有、意見交換等の実施	年４回	永田町、霞が関、首都圏県庁所在地等	３人	児童、青少年、女性全ての安心に係る担当者	50人を想定	58,120

（２）その他の事業　　（事業費の総費用【　　】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費（千円）